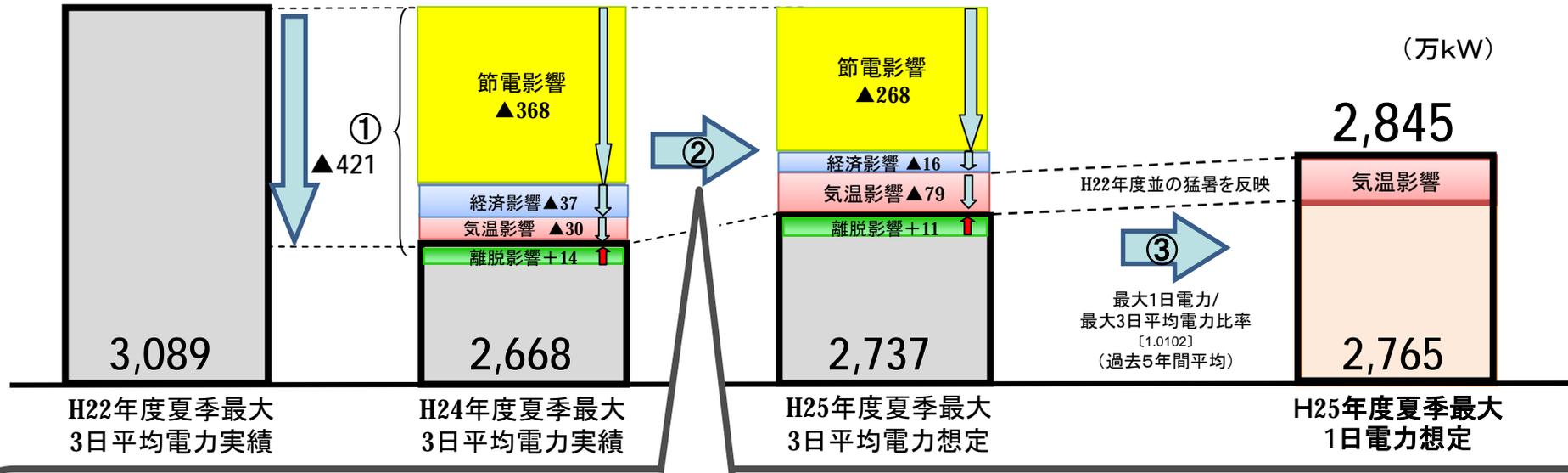


今夏の需給見通しについて

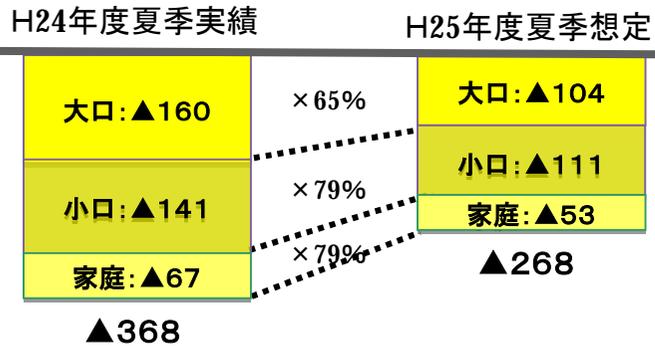
平成25年4月26日
関西電力株式会社

今夏の最大電力想定の方考え方について

【最大電力の見通し】



【②-1:節電影響の見通し】



【定着節電アンケート結果(H25.2実施)】

	定着率	サンプル数
大口	65%	463件
小口	79%	483件
家庭	79%	1071件

【②-2:経済影響の見通し】



- ①: H24年度夏季における節電影響、経済影響、気温影響、離脱影響を、H22年度とH24年度の夏季実績を比較して算出しています。
- ②-1: 今夏の節電影響は、至近のアンケート結果に基づいた大口、小口、家庭別の節電定着率により、▲268万kWと想定しています。
- ②-2: 今夏の経済影響は、H24年度の関西地域の景気が低迷したため、リーマンショックから大きく景気が回復したH22年度夏季と比較すると依然としてマイナスであるものの、今後の景気拡大を織込み、H24年度夏季と比べ+21万kWとなるものと想定しています。
- ③: H22年度並の猛暑を反映した今夏の最大1日電力は、最大1日電力/最大3日平均電力比率の過去5年間平均を用いて、2,845万kWになるものと想定しています。

今夏の需給見通し(8月)

[万kW]

	①昨夏想定	②今夏想定	差分 (②-①)	備考
供給力-需要 (予備率)	▲445 (▲14.9%)	87 (3.0%)		(凡例) ☆ 計上の考え方 ○ 昨夏との差分
需要	2,987	2,845	▲142	○節電影響量の見込み(▲117→▲268)等による差分 ○昨夏想定には随時調整電力▲28万kW織込み
供給力(合計)	2,542	2,932	+390	
原子力	0	236	+236	○大飯3・4号機の稼働による増(+236)
水力	203	205	+2	☆天候によらず安定的な供給力として下位5日の平均から算定 ○和田、船津他の台風被害からの復旧等による増(+2)
火力	1,472	1,478	+6	☆定期検査の繰り延べ ※昨夏同様、全台運転で計上 ☆火力の増出力、緊急設置電源、吸気冷却装置の活用 ○関空1GT他の増出力運転の実績を反映等による増(+3) ○姫路第一GTの営業運転による増(+3) ☆試運転出力は供給力として計上しない ※建設中の姫路第二1号機は同一サイト内における初号機であるため見込まず
揚水	223	420	+198	☆想定需要とベース供給力から算定
新エネ	0.2	0.3	+0.1	
他社・融通	644	591	▲52	☆太陽光は高需要発生日の下位5日の平均から算定 ○固定買取制度による至近の普及状況等による増(+16) ☆必要予備率3%確保までの調達を計画 ○自家発からの調達の減(▲14) ○応援融通の減(▲50) 等 ※四捨五入のため合計が合わないことがあります。
他社	522	525	+3	
水力・揚水	67	68	+1	
火力	451	436	▲14	
新エネ	5	21	+16	
融通等	121	66	▲55	

○今夏は、想定需要2,845万kW(1日最大電力・H22年度並の猛暑)に対して、最低限必要な予備率3%となる、供給力2,932万kWを確保できる見通しです。

今夏の需給見通し

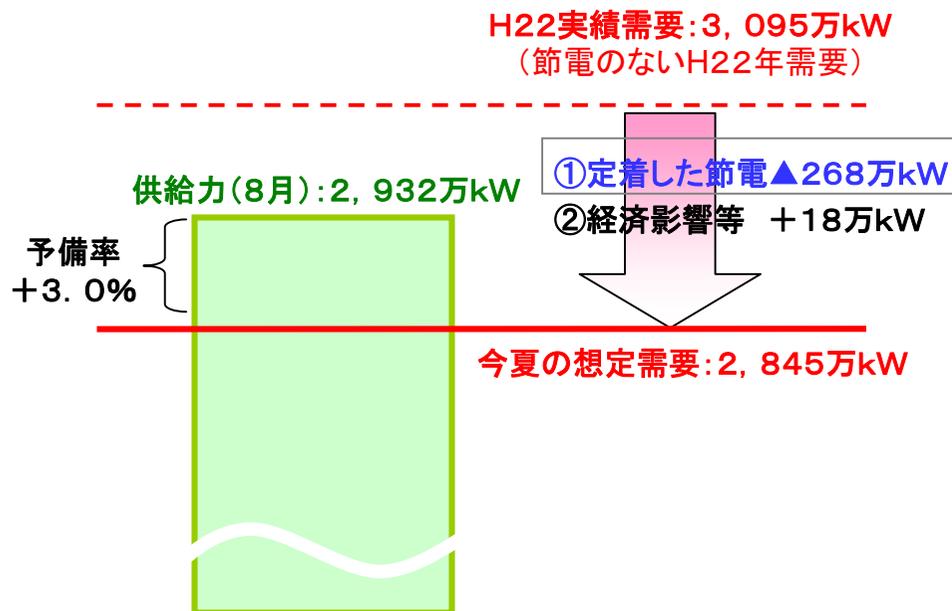
(発電端: 万kW)

	7 月	8 月	9 月
需要	2,845	2,845	2,764
供給力	2,932	2,932	2,848
予備力	87	87	84
予備率	3.0%	3.0%	3.0%

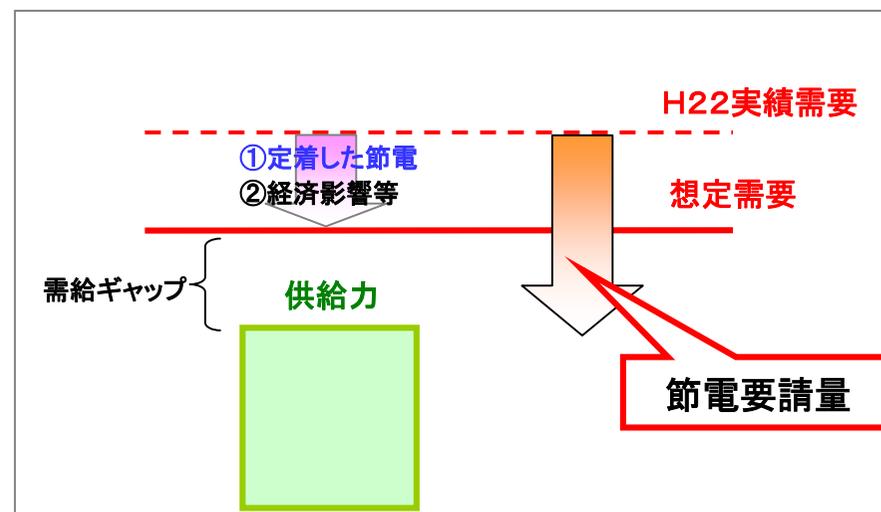
供給力内訳	原子力	236	236	118
	火力	1,482	1,478	1,483
	水力	223	205	188
	揚水	425	420	429
	他社・融通	566	591	631

定着した節電の見込みと節電・省エネのイメージ

今夏は、当社管内では電力を安定供給する上で最低限必要な予備率となる3%を確保できる見通しではありますが、需要の想定において、定着した節電（平成22年度の夏季最大電力比：8.7%、268万kW）を見込んでいることから、この水準を目安に、この夏についても、ご無理のない範囲で、引き続き、節電・省エネにご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



(参考) 昨夏までの節電要請のイメージ



<参考：政府の節電要請内容および期間・時間>

要請内容：「数値目標を伴わない節電」※今夏の需給見通しは、定着節電分の需要減少を見込んでおり、この水準での節電の確実な実施を要請（当社管内の目安8.7%）

期間・時間：平成25年7月1日（月）～平成25年9月30日（月）までの平日（ただし、8月13日（火）～15日（木）までを除く）9時～20時

今夏の需要側の対策の考え方

- 昨夏は、需給ギャップが大きくマイナスと想定される中、お客さまにも相当のご負担をお願いするとともに、ありとあらゆる対策を実施しました。
- 今夏は、大飯3, 4号機の稼動を見込んだ上で、火力の震災特例の活用による定検繰り延べ等により、最低限必要な予備率3%は確保出来る見通しです。
- そのため、お客さまのご負担を極力軽減しつつ、効果的・効率的なピーク抑制対策について、引き続き取組みを進めるとともに、将来に向けた知見の蓄積を図ってまいります。

今夏の取組み

- ホームページにて、電力需給のお知らせ
 - ホームページや検針票裏面等にて、節電・省エネのPR
 - 電気のご使用状況を見える化するサービス「はぴeみる電（電気のご使用量のお知らせ照会サービス）」の加入拡大に向けた取組み
 - 緊急時のネガワット特約（通告調整特約）
 - BEMSアグリゲーターを活用した需要抑制の取組み
- 法人のお客さま向け

今夏の電力需給情報等のホームページへの掲載について

■電力需給のお知らせ

【掲載時刻】毎日9：30頃、18：30頃

【掲載内容】毎日の需給予想

【掲載項目】使用率（顔マークなし）、予想最大電力、ピーク時供給力、電源別の供給力など

※電気の使用率が97%を超過する見込みとなった際、電子メールにてその時間帯をお知らせする「需給逼迫のお知らせメール」の運用および新規登録の受付を6月下旬より開始いたします。なお、ご登録はホームページにて受付いたします。（既にご登録いただいている場合は、改めてのご登録は不要です。）

■週間電力需給のお知らせ

【開始時期】6月28日（金） [7月1日（月）以降の予報分] から

【掲載時刻】毎週金曜日18：30頃（日々の更新なし）

【掲載内容】翌週（平日月～金）の需給予想 ※土日祝・8月13日（火）～8月15日（木）を除く

【掲載項目】使用率（顔マークなし）、予想最大電力、ピーク時供給力、電源別の供給力など

■電力需給のお知らせ（イメージ）



■週間電力需給のお知らせ（イメージ）

H25年0月00日 18時30分更新

	○(日)	○(月)	○(火)	○(水)	○(木)	○(金)	○(土)
使用率	—	88	89	—	94	95	—
予想最大電力 (万kW)	—	X,XXX	X,XXX	—	X,XXX	X,XXX	—
ピーク時供給力 (万kW)	—	X,XXX	X,XXX	—	X,XXX	X,XXX	—
天気	—	曇り～雨	曇時々雨	—	曇時々雨	晴	—
気温(℃) (最低/最高)	—	XX/XX	XX/XX	—	XX/XX	XX/XX	—

※需給逼迫のお知らせメール（イメージ）

